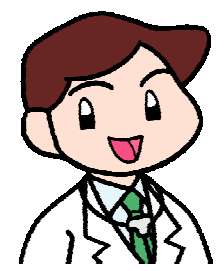


経尿道的膀胱腫瘍切除術 (TUR-BT) を受けられるID: 様へ

パスコード:13004 世代:5

発行日:1900/01/00

経過 月日	入院(手術前日) (月日)	手術当日(手術前) (月日)	手術当日(手術後) (月日)	術後1日目 (月日)	術後2～3日目 (月日)	術後4日目 退院日(月日)	退院後の診察 (月日)
達成目標	☐手術に必要な処置を受ける事ができる。 ☐手術に必要な前準備が理解でき、守ることができる。 	☐不安なく落ち着いて手術を受けることができる。 ☐痛みや気分の悪さを我慢せず伝えることができる。	☐安静を守ることができる。 ☐痛みや気分の悪さを我慢せず伝えることができる。	☐安静解除後 看護師と共にしっかりと歩くことができる。 ☐尿バッグの管理ができる。	☐尿の管が抜去できる。 ☐カテーテル抜去後、自尿がある。	☐退院おめでとうございます ☐退院することができる。 ☐退院後注意する事や症状が何であるか理解できる。	☐療養生活が継続できる。 ☐後出血をおこさない。
治療・ 処置・ 検査・ 薬剤(点滴)	☐持参薬の確認をします。 ☐中止指示のあるお薬を飲んでいないか確認します。  ☐採血 ☐検尿 ☐心電図 ☐レントゲン (外来で検査が終了していれば必要ありません。)	*手術日時: 年 月 日 (曜) 時 分 の予定です。 ☐指示された薬のみ少量の水で飲んで下さい。	☐点滴・尿の管が入ってきます。 ☐フットポンプがつきます。 	☐点滴を終了します (場合によっては追加します) ☐持参のお薬の内服を再開します。 (抗血栓薬以外です)。 詳しくは当日看護師より説明があります。 ☐採血	☐尿の管を抜いた後、最初の自尿は看護師に見せてください。 (簡単な残尿エコーします)		
安静度	☐特に制限はありません。	☐翌日の朝までは基本ベッド上安静です。 ☐ベッドの上で体の向きを変える事はできます。 ☐背もたれは術後3時間後より起こすことができますが、必ず看護師に確認してからあげるようにお願いします。	☐翌日の朝までは基本ベッド上安静です。 ☐ベッドの上で体の向きを変える事はできます。 ☐背もたれは術後3時間後より起こすことができますが、必ず看護師に確認してからあげるようにお願いします。	☐朝の状態に変わらなければ看護師が見守りをしふらつきなく歩く事ができるか確認をします。 ☐それ以降は制限はありません。 	☐特に制限はありません。		
食事	☐特に制限はありません。 	☐飲水可能時間 手術時間で違います 08:45～12:59・・・6時まで飲水可 13:00～16:00・・・10時まで飲水可 16:00・・・・・・・13時まで飲水可 ※手術時間は看護師から説明があります ☐当日朝から絶食です。	☐水分・食事の時間は看護師より説明があります。 (基本、手術翌日から飲食ができるようになります)	☐朝食より食事が再開となります。 ベッド上でのお食事となります。	☐特に制限はありません。		
清潔	☐お風呂に入り体を清潔にします。 ☐主治医の指示がある場合は切毛をします。	☐手術当日は控えて下さい。	☐体拭きをします。 ☐陰部を洗浄します。 	☐術後2日目からシャワー浴ができます。 ☐尿の管が抜けたら入浴しても大丈夫です。			
排泄	☐尿の色を確認します。 ☐尿量の測定・記録をして下さい。		☐手術中に尿の管が入ります。 ☐帰室後3時間がたてば排便時のみ車いすでトイレに行けます。ナースコールください。(脊椎麻酔のときのみ)	☐尿のバッグは手提げ袋に入れます。	☐尿の管が抜けるのは術後2, 3日目です。 (尿の色や量、検査で主治医が判断します) ☐尿の管が抜けた後は、尿量の記載を再開してください。		
患者様 及び ご家族への説明	☐主治医より入院・治療について説明があります。 ☐麻酔科の医師による診察・麻酔に関する説明があります。 ☐手術室看護師の訪問があります。 ☐看護師より手術までの流れに関する説明と必要物品の確認をします。 ☐お名前確認のためネームバンドを付けます。 ☐以下の物をご用意ください。 ・ビニール袋2枚(靴と寝衣を入れます) ・テープ式の紙おむつ1～2枚 ・吸い飲み、又は先の曲がるストロー、コップ ☐入院・退院について心配あれば相談して下さい。	☐必要物品はベッドの上にまとめておいて下さい。 ☐寝間が汚れていなければ、着替えはせず、排尿をすませてお待ち下さい。 ☐コンタクトレンズ・腕時計・指輪・ヘアピン・かつら・入れ歯・アクセサリ等は 外して下さい。 ☐手術室で術衣に着替えてから入室します。 ☐貴重品は必ず家族の方へお預け下さい。 ☐弾性ストッキングをはいていただきます。 ☐ご家族の方にはポケベルをお渡しします。 ☐ご家族の方は2階の「家族待合室」または病室でお待ち下さい。	☐麻酔から醒めてきたら、足の感覚が戻ってきます。 ☐それと同時に尿の管の違和感や痛みなど尿の管の刺激を感じるがあります。 ☐その際は遠慮せずナースコールを押して下さい。 ☐痛みを和らげるお薬を使います。	☐尿のバッグは腰より低い位置で持って下さい。 ☐管をひっぱったりしないよう気をつけて下さい。 ☐点滴がなくなるので水分をしっかり取って下さい。 ☐便秘気味でしたら、医師・看護師にご相談ください。 	☐退院について不安・質問などあれば遠慮なく、医師・看護師にお申しつけ下さい。 	※退院後の療養生活上の留意点 ◎出血を予防する為次の事に注意して下さい。 ・熱い風呂(40度以上)に長時間(20～30分)入らない。 ・激しい運動は控えて下さい。 ・水分摂取を心がけて下さい。 ・患部への圧迫を避けるようにして下さい。 ・飲酒は主治医の許可があるまでやめて下さい。 ・排便時、怒責をかけないようにして下さい。 ・自転車は退院後2週間は控えて下さい。 上記のことは次回外来まで注意し、次回外来時に主治医にご確認ください。 ◎尿の色や出具合を気にするようにして下さい。 ・尿に酷く血が混じった、尿が出ない等あれば外来受診して下さい。	

注) この予定表は現時点で考えられるものであり、検査、治療、内容や入院期間等は病状にあわせてその都度変更する場合がありますのでご了承下さい。
主治医: